

教保体第124号
令和5年4月17日

各市町村教育委員会教育長 }
各 県 立 学 校 長 } 様
各 教 育 事 務 所 ・ 支 所 長 }

埼玉県教育委員会教育長

運動会・体育祭等の体育的行事における事故防止について（通知）

日頃、児童生徒の事故防止について、十分な準備と的確な対応に厚く御礼申し上げます。
さて、各学校においては、運動会・体育祭等の体育的行事を計画されていることと存じます。

つきましては、下記の事項に御留意の上、今後実施予定の運動会・体育祭等の体育的行事における事故防止に万全を期すよう御配慮をお願いいたします。

なお、市町村教育委員会におかれましては、貴管内各学校に周知くださるようお願いいたします。

記

1 児童生徒の実態に即した種目の選定

運動会・体育祭等の体育的行事においては、児童生徒の発達段階及び実態に即した種目及び内容を選定すること。

また、危険度が低いとみられる種目であっても、適切な人数の教員を配置するなど、児童生徒の安全確保に最大限配慮すること。

2 十分な練習時間の確保と計画的な指導の実施

児童生徒の安全確保を最優先した指導計画を作成するとともに、十分な練習時間を確保すること。

3 危険発生時の予測と安全確保の徹底

活動に際しては、強風、落雷や竜巻等の気象状況に十分留意して、運動の内容や方法を決めること。屋外での活動中に強風、落雷や竜巻等の予兆があり、少しでも危険性がある場合は躊躇なく活動を中止し、明らかに危険性が無くなると判断されるまで、安全な場所に避難するなど、児童生徒の安全確保を最優先事項として判断し、対応すること。

4 児童生徒の健康状態の把握と、活動前・活動中・活動後の健康観察の徹底

日常の健康観察とともに、行事前の臨時の健康診断や活動開始前・活動中・活動後の児童生徒の健康観察を徹底し、健康状態を把握すること。

また、児童生徒が自己の健康状態や体力を知り、それに応じて運動を実践することができるよう指導すること。

5 感染防止策及び熱中症対策の徹底

- (1) 実施する場合においては、換気を徹底する、可能な限り身体的距離を確保するなど、基本的な感染防止策を徹底すること。
- (2) 練習や準備の段階から、感染防止策及び熱中症対策を徹底し、特に発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状のある者は参加を控えるよう徹底すること。

6 緊急対応マニュアルの作成と検証

各学校の危機管理マニュアルに基づく、事故発生時の適切な初期対応及び役割分担や手順の共通理解を図るために、「事故発生時の緊急対応マニュアル」の作成、検証を行うこと。

また、教職員・生徒を対象に、救急法講習会等を実施し、心肺蘇生法やAEDの使い方を身に付けておくこと。

7 事故発生時の迅速かつ適切な対応とAEDの設置及び携行

各学校の「事故発生時の緊急対応マニュアル」に基づき、総力をあげて迅速で適切な対応を行うこと。

AEDの設置場所を必ず表示し、外部の方にも分かるようにすること。特に体育的行事においては、AEDを携行すること。(状況に応じて、複数台を用意すること。)

8 AEDの使用方法的確認と定期点検

AEDの操作方法について毎年度、定期的の実技講習等を行うとともに、定期的にAEDのバッテリー、消耗品(パッド等)の点検を行い、いつでも使用可能にしておくこと。

9 事故発生時の適切な対応とAEDの使用

心肺停止状態の疑いのある状況では、躊躇することなくAEDを使用すること。

また、心肺機能の回復が確認されるまで、AEDの音声指示に従い複数回使用するとともに、事故発生時には時系列に順じて、状況や対応を正確に把握し記録を残すこと。

※ 令和2年度に実施しました「運動会・体育祭等における組体操・騎馬戦等の調査について」の結果を、別紙1～3にて再度お知らせいたします。(令和2年7月1日付け教保体第404号にて通知済)

つきましては、別紙資料及び各校の児童生徒の実態等を基に、今年度の計画立案や安全対策等の見直しの参考にしてください。

令和5年度 体力向上に向けた目標
一人一人が「目標を持って」取り組み、
「自己の体力の伸びを実感」できるようにする。
県の体力向上に向けた合い言葉
「コツコツときたえた体は たからもの」

担当
県立学校部保健体育課
学校体育担当
TEL 048-830-6947
FAX 048-830-4971
Email a6960-04@pref.saitama.lg.jp

運動会・体育祭等における組体操の実施状況調査結果

【小学校】

	平成30年度 (704校中)		令和元年度 (703校中) <small>義務教育学校前期課程含</small>		令和2年度 (703校中) <small>義務教育学校前期課程含</small>		増減 (H30とR1の比較)		増減 (R1とR2の比較)	
	組体操実施校数	562	(79.8%)	569	(80.9%)	444	(63.2%)	+7	(1.1%)	-125
ピラミッド実施校数	477	(67.8%)	479	(68.1%)	374	(53.2%)	+2	(0.4%)	-105	(-14.9%)
6段以上のピラミッド実施校数	17	(2.4%)	11	(1.6%)	2	(0.3%)	-6	(-0.9%)	-9	(-1.3%)
タワー実施校数	330	(46.9%)	276	(39.3%)	217	(30.9%)	-54	(-7.6%)	-59	(-8.4%)
4段以上のタワー実施校数	18	(2.6%)	9	(1.3%)	5	(0.7%)	-9	(-1.3%)	-4	(-0.6%)

【中学校】

	平成30年度 (357校中)		令和元年度 (356校中) <small>義務教育学校後期課程含</small>		令和2年度 (357校中) <small>義務教育学校後期課程含</small>		増減 (H30とR1の比較)		増減 (R1とR2の比較)	
	組体操実施校数	68	(19.0%)	60	(16.9%)	32	(9.0%)	-8	(-2.2%)	-28
ピラミッド実施校数	63	(17.6%)	55	(15.4%)	29	(8.1%)	-8	(-2.2%)	-26	(-7.3%)
6段以上のピラミッド実施校数	7	(2.0%)	5	(1.4%)	1	(0.3%)	-2	(-0.6%)	-4	(-1.1%)
タワー実施校数	42	(11.8%)	40	(11.2%)	21	(5.9%)	-2	(-0.5%)	-19	(-5.4%)
4段以上のタワー実施校数	4	(1.1%)	3	(0.8%)	2	(0.6%)	-1	(-0.3%)	-1	(-0.3%)

【高等学校等】（公立高等学校・公立特別支援学校）

	平成30年度 (179校中)		令和元年度 (179校中)		令和2年度 (179校中)		増減 (H30とR1の比較)		増減 (R1とR2の比較)	
	組体操実施校数	17	(9.5%)	15	(8.4%)	12	(6.7%)	-2	(-1.1%)	-3
ピラミッド実施校数	15	(8.4%)	11	(6.1%)	8	(4.5%)	-4	(-2.2%)	-3	(-1.7%)
6段以上のピラミッド実施校数	1	(0.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	-1	(-0.6%)	+0	(0.0%)
タワー実施校数	11	(6.1%)	11	(6.1%)	7	(3.9%)	+0	(0.0%)	-4	(-2.2%)
4段以上のタワー実施校数	4	(2.2%)	3	(1.7%)	2	(1.1%)	-1	(-0.6%)	-1	(-0.6%)

※1 組体操には、ピラミッドやタワーをはじめ、2～3人で組む倒立なども含む。

※2 組体操実施校数は、単独でピラミッド又はタワーを実施した学校と、その両方を実施した学校を含む。

※3 令和2年度は計画案である。

別紙 2

令和元年度 組体操におけるピラミッド、タワーによる怪我の発生状況
(練習中を含む)

【小学校】 703 校中 (義務教育学校前期課程含) ※ () 内は H30 比

種目	実施校数	怪我の発生校数	発生した学校の割合
ピラミッド	479(+2)	34(+3)	7.1%(+0.6)
タワー	276(-54)	22(-2)	8.0%(+0.7)

<怪我の内訳> ※ () 内は H30 比

種目	骨折	脱臼	打撲	捻挫	擦過傷	その他	計
ピラミッド	5(-2)	0(0)	32(-6)	12(+3)	53(+1)	2(+2)	104(-2)
タワー	0(-3)	0(0)	21(-9)	7(+1)	24(+2)	0(0)	52(-9)
入院件数※	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

【中学校】 356 校中 (義務教育学校後期課程含) ※ () 内は H30 比

種目	実施校数	怪我の発生校数	発生した学校の割合
ピラミッド	60(-3)	19(-6)	31.7%(-8.0)
タワー	40(-2)	5(-5)	12.5%(-11.3)

<怪我の内訳> ※ () 内は H30 比

種目	骨折	脱臼	打撲	捻挫	擦過傷	その他	計
ピラミッド	4(-2)	0(0)	26(-9)	11(+1)	34(-26)	0(-1)	75(-37)
タワー	3(+2)	0(0)	5(-5)	0(-3)	4(-3)	1(-2)	13(-11)
入院件数※	1(+1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(+1)

【高等学校、特別支援学校】 179 校中 ※ () 内は H30 比

種目	実施校数	怪我の発生校数	発生した学校の割合
ピラミッド	11(-4)	1(-2)	9.1%(-10.9)
タワー	11(0)	1(-1)	9.1%(-9.1)

<怪我の内訳> ※ () 内は H29 比

種目	骨折	脱臼	打撲	捻挫	擦過傷	その他	計
ピラミッド	1(0)	0(0)	1(-4)	0(-2)	0(-3)	0(0)	2(-9)
タワー	0(0)	0(0)	1(-1)	0(-1)	0(0)	0(0)	1(-2)
入院件数※	1(+1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(+1)

※入院件数は、ピラミッド、タワーの合計した数の内数。

別紙 3

令和元年度 騎馬戦、ムカデ競走、棒倒し等による怪我の発生状況
(練習中を含む)

【小学校】 703 校中 (義務教育学校前期課程含) ※ () 内は H30 比

種目	実施校数	怪我の発生校数	発生した学校の割合
騎馬戦	256 (-39)	36 (-9)	14.1% (-1.2)
ムカデ競走	20 (+3)	2 (+2)	10.0% (+10.0)
棒倒し等	14 (0)	2 (0)	14.3% (0)

<怪我の内訳> ※ () 内は H30 比

	骨折	脱臼	打撲	捻挫	擦過傷	その他	計
騎馬戦	4 (-4)	0 (0)	11 (0)	2 (0)	36 (-30)	5 (+3)	58 (-31)
ムカデ競走	0 (0)	0 (0)	1 (+1)	0 (0)	2 (+2)	0 (0)	3 (+3)
棒倒し等	0 (0)	0 (0)	4 (+4)	1 (+1)	6 (-12)	0 (0)	11 (-7)
入院件数※	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

【中学校】 356 校中 (義務教育学校後期課程含) ※ () 内は H30 比

種目	実施校数	怪我の発生校数	発生した学校の割合
騎馬戦	16 (-3)	5 (-1)	31.3% (+0.1)
ムカデ競走	231 (+5)	114 (-6)	49.4% (-3.7)
棒倒し等	11 (+2)	6 (0)	54.5% (+12.2)

<怪我の内訳> ※ () 内は H30 比

	骨折	脱臼	打撲	捻挫	擦過傷	その他	計
騎馬戦	0 (-1)	0 (0)	2 (+2)	0 (0)	14 (+2)	0 (0)	16 (+3)
ムカデ競走	8 (-2)	0 (0)	36 (+4)	63 (+33)	726 (-182)	4 (+3)	837 (-144)
棒倒し等	0 (0)	0 (0)	3 (+1)	2 (+2)	17 (+8)	0 (0)	22 (+11)
入院件数※	1 (+1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (+1)

【高等学校、特別支援学校】 179 校中 ※ () 内は H30 比

種目	実施校数	怪我の発生校数	発生した学校の割合
騎馬戦	50 (-2)	12 (-1)	24.0% (-1.0)
ムカデ競走	56 (-1)	12 (-2)	21.4% (-3.2)
棒倒し等	24 (+6)	11 (+1)	45.8% (-9.8)

<怪我の内訳> ※ () 内は H30 比

	骨折	脱臼	打撲	捻挫	擦過傷	その他	計
騎馬戦	0 (-1)	0 (0)	7 (-2)	2 (-1)	22 (+10)	6 (+1)	37 (+7)
ムカデ競走	0 (0)	0 (0)	1 (0)	6 (+3)	66 (+6)	0 (-1)	73 (+8)
棒倒し等	0 (-3)	1 (+1)	10 (-14)	0 (-4)	32 (-13)	6 (+2)	49 (-31)
入院件数※	1 (+1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (-1)	1 (0)

※入院件数は、騎馬戦、ムカデ競走、棒倒し等の合計した数の内数